

たまのまちづくり通信

テーマ

～「新・人流港」へ!～

人が集い交流する瀬戸内の港町 玉野

発行：玉野市中心市街地活性化協議会事務局

〒706-8533 玉野市築港 1-1-3(玉野商工会議所内)

TEL:0863-31-5011 FAX:0863-31-5558

E-mail:info@tamanocci.jp

<http://www.tamanocci.jp/ccam/>

発行日：平成26年9月



UNOICHI～海が見える港のマルシェ～

宇野港第1突堤芝生広場において、7月20日(日)に飲食や音楽を楽しむ「UNOICHI 海が見える港のマルシェ」が開催され、市内外から約3,000人が訪れ大勢の家族連れや女性グループらでにぎわった。この催しは、「宇野港ゆめ市場」の後継イベントとして、宇野港界限に住む若手や移住者の有志により企画・運営されたイベントで、瀬戸内ならではのおいしい食べ物や飲み物、スイーツをはじめ、グッズ、ものづくり体験、ワークショップ、生バンドなど盛り沢山のマルシェイベントとなった。

宇野港第1突堤

宇野港周辺のお店を中心に直島・豊島・小豆島からの出店もあり、かき氷、フルーツポンチ・冷やしフルーツ、地ビール、ご飯物、本、アクセサリなど計30ブースが並んだ。

また、玉野商業高校の企画・運営への参加や玉野高校吹奏楽部の演奏など地元高校生や地域の協力が得られた。

次回開催：10月26日(日)10時～15時



街なか市街地整備事業(中心市街地地区)

中央公園

中央公園魅力化整備

中心市街地のゆとりと安らぎの空間を創造するため、老朽化した中央公園の芝生広場や遊歩道、出入り口(バリアフリー化)のほか、ストレッチベンチ、防災対応のかまどベンチやマンホールトイレ、照明等が整備されました。今後は多目的トイレの移設(バリアフリー化)、健康遊具の整備等が行われる予定です。



広域交流拠点整備部会 (青井一令部会長)

瀬戸内温泉「たまの湯」

瀬戸内温泉「たまの湯」は、昨年3月30日の開業以来おかげさまで1年半が経過しました。これからも地域のお客様に愛され役に立つ温浴施設として、心からのおもてなしをお届けすることをモットーに営業いたします。

地域と連携した取り組みとして、「海廊ギャラリー」では、たまの地域おこしフォトコンテストやマリンフェスティバルフォトコンテストの入賞作品を展示し好評を博しています。「地域特産品コーナー」では、地元特産の海苔・蜂蜜・ジャム・トマトジュース・紫芋クッキーやののちゃんグッズ、お宝たまの印認定商品など幅広く品揃えしています。

お得情報としては、毎週(金)のシニアデー(65歳以上の会員の方、入館料800円)、「広報たまの」限定のクーポン券(平日限定入館料800円)などご利用いただけます。

海廊ギャラリー



地域特産品コーナー



移住プロジェクト (うのづくり実行委員長 森美樹)

7年半で50組100人の定住人口増を目指して

平成24年6月から移住者支援に取り組み、この8月末までに21組43人の移住者を受け入れることができました。課題である空き物件の確保については、現在、玉野市、コミュニティ協議会、地域住民の方との連携を図っています。

バルハウス

4月からは、宇野港界限における文化・芸術・イベント情報を総括して見ることのできるサイト「UNOPORT」を開設しました。URL:<http://unoport.info>

7月20日の築港夜市では、“uz”が企画・運営したBARHAUS(バルハウス)を文化会館内で開催し、飲食やライブで大人も子供も楽しめるくつろぎスペースとして、一息つける場を提供しました。



クリエイター交流拠点“uz”(うず)

4月4日にリニューアルオープンし、新しい運営者のもと、軽食や夜のBAR(バー)も始めました。今後とも交流拠点の役割を果たしながら、賑わい創出に努めます。

「うのづくり」とは、・・・『うのに住(す)んで+つくる』

- ・定住人口・仕事の増加、空き物件の活用
- ・観光資源・賑わいの創出、文化拠点と連携
- ・交流拠点の設置と新たなコミュニティの形成
- ・HP URL:<http://www.unozukuri.com/>
(問合せ先)森 美樹 TEL:0863-31-1388



たまのミュージアム

《企画展示コーナーのご案内》

玉野市出身のCGイラストの巨匠であり、世界的に有名なイラストレーターの内尾和正「心描画展」(~9月16日まで)も大好評の内に、残り会期がわずかとなっています。

また、ポストカード・クリアファイル・缶バッジなどの内尾和正展グッズも取り揃えています。是非お越しくださいませ。

内尾和正「心描画展」



9月26日からは、同じく玉野市出身の哲学者・エッセイストである土屋賢二展を開催いたします。執筆書籍の紹介や販売、過去の講演会のDVD放映や秘蔵品の展示など盛り沢山の内容になっています。(9/26~12/16)

また、11月2日(日)には、3階メルカホールにて土屋賢二氏講演会を開催いたします。定員は先着100名で、申し込みの詳細は「広報たまの」10月号及び「たまのミュージアム」のフェイスブックページでお知らせします。



場所 : メルカ・天満屋ハピータウン2階
開館時間 : 10:00~19:00
休館日 : 毎週水曜日
お問合せ : 31-6131 **入場無料**

いしいひさいち部会 (伊達元英部会長)

ののちゃんち移転オープン

5月24日に「ののちゃんち」が、築港のビル2階から観光客にもわかりやすい築港商店街の文化会館向かいに移転リニューアルオープンしました。

4コマ漫画展示コーナーやグッズ販売の他、いしい氏が初期に発表した「oh! バイト君」や映画の台本など実際に使用した貴重な品々を展示しています。

また、ののちゃん他いしい氏の本が座って読むことができたり、お子様には塗り絵やクラフト作成、缶バッジ作成体験など楽しんでもらうこともできます。お気軽にお立ち寄りください。

営業日:(土)、(日)のみ
営業時間:10:00~16:00
入場無料

ののちゃんち



どてきり部会 (吉本誠部会長)

幻のカニ「どてきり」を玉野名物にして街を元気に

高級食材「どてきり」を玉野名物に育成するために、バングラデシュでの種苗生産を開始しました。現地で合弁会社を設立し、種苗生産から加工まで一括して生産管理し、世界各国への輸出事業を展開中です。

また、新作メニューとしてカレー・ラーメン・カニ玉・コロッケ・グラタン・スープなど、自社からの直輸入ならではの価格と品質にこだわったメニューを開発していきます。



どてきりラーメン



どてきりカレー

宇野港 再発見！

街歩きツアー

たまの観光ボランティアガイド「つつじの会」のガイドさんご案内します。

11/2(日)は、宇野港周辺から天満屋ハピータウンにかけて、「食」のイベントが開催される“特別な一日”です。見て、食べて、歩いて、心も体もリフレッシュしましょう。

行程：産業振興ビル集合(1班10:00、2班10:30)

宇野港周辺(アート作品など)⇒ののちゃん4コマ漫画祭り⇒イベント会場(玉野魚市場、タマヤ、天満屋ハピータウンの各会場)⇒たまのミュージアム

⇒解散・自由行動(12:00または12:30)

日時：11月2日(日)【1班】10:00～12:00

【2班】10:30～12:30

料金：無料

定員：先着50名(要予約)

申込方法：官製はがきに住所・参加者全員の氏名・電話番号と「街歩きツアー」参加希望と記入

※参加の可否は10月26日(日)までに郵送をもって、回答に代えさせていただきます。

申込先：〒706-8533 玉野市築港1-1-3 4階

玉野市中心市街地活性化協議会 ☎31-5011

締切日：10月22日(水)



宇野港外来フレッジャーボート係留動向調査事業(社会実験)

昨今のクルージングレジャーの需要に対応した環境整備のため、ビジターバースの設置の前段階として、4月1日より宇野港第1突堤において社会実験を開始した。

現在までに7件(ヨットが大半)の利用があり、玉野市周辺の観光や「たまの湯」目的が多いことがわかった。海の路ネットワーク・観光協会・たまの湯とのリンクや玉野市のフェイスブック等でPR中。今後は「海の駅」の登録を目指す。問合せ：県宇野港管理事務所 ☎31-3211

県営10号浮棧橋

